

# 九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遙拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切部（切目）王子社、上富田町の稲葉根王子社、田辺市中辺路町の滝尻王子社、田辺市本宮町の発心門王子社は、五躰王子社として特に格式が高いといわれています。

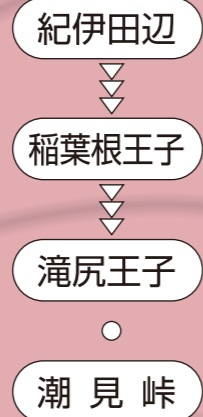
上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していきましたが、足利将軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

- 旅のお問い合わせは**
- 田辺市観光振興課・田辺観光協会 TEL.0739-26-9929
  - (一社) 田辺市熊野ツーリズムビューロー TEL.0739-26-9025
  - 上富田町振興課・観光協会 TEL.0739-47-0550
  - 大塔観光協会 TEL.0739-48-0301
  - 中辺路町観光協会(熊野古道館) TEL.0739-64-1470
  - (公社) 和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
  - 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

# 和歌山県街道マップ 熊野古道

中辺路 紀伊田辺～滝尻王子・潮見峠



田辺市の潮垢離浜で身を清め、出立王子に参り、心新たに中辺路の山中へとわけいきます。ここ田辺市は中辺路と大辺路の分岐点でもあります。三栖王子から西行法師ゆかりの八上王子を経て、藤原定家の『熊野御幸記』に五躰王子と記されている稲葉根王子からは岩田川（現・富田川）に沿って上流の滝尻王子へと向かいます。この川を歩いて渡ることが禊ぎであり、藤原宗忠は19回も渡河を重ねています。『平家物語』の平重盛等のエピソードや『義経記』にも記述があり、重要な垢離の川でありました。後鳥羽上皇の側室、修明門院が承元4年（1210）の御幸の時、前夜からの大風雨をおして無理に渡河し、9人も溺死するという史実は、まさに難行苦行の苛酷さを物語っています。国道311号の北郡トンネル入口付近から左の山上に登る道が熊野古道ですが、清姫茶屋から真砂の里の対岸の辺りにも熊野古道があったと推定されます。

一方、三栖王子の手前から真東に向かい、長尾坂を登り、横山の山腹を縫って、潮見峠を経て、中辺路町栗栖川に至る道が「潮見峠越」です。1日も早く熊野の湯につかり、三山にお参りしたいという一般庶民が歩いた近世の熊野古道です。熊野への最短コースでありました。



## ルートその1【P4へ】 紀伊田辺駅～稲葉根王子

田辺で海回りの大辺路と分かれた古道は、いよいよ山また山の中辺路へと入り、一路熊野本宮大社をめざします。このコースは、中辺路の入口にあたり、田辺市から上富田町にかけての緩やかな丘陵沿いに進みます。

田辺市東部の秋津・万呂・三栖といった王子社をめぐる、岡の峠を越えれば上富田町。「西行」ゆかりの八上王子、「南方熊樺」ゆかりの田中神社等、歴史と文化に彩られた史蹟に立ち寄りながら歩きます。

コースの最後は、昔の旅人が聖水と崇めた富田川沿いに鎮座する稲葉根王子社。聖水で身を清める「水垢離」が盛んに行われた、別格の五躰王子社です。



三栖王子



八上神社



高山寺

秋津王子

## ルートその2【P6へ】 稲葉根王子～滝尻王子

稲葉根王子から清らかな流れの富田川に沿って遡り、田辺市中辺路町滝尻王子へと向かいます。現世の不浄を清めると考えられた富田川を、旅人は何度も渡りながら遡ったといわれ、それを証明するかのように、このコースでは王子社が川の北側・南側と交互に現れます。後半は富田川沿いの気持ちのよい地帯に導かれ、いよいよ中辺路町へ。

清姫生誕の地といわれる真砂の里を過ぎると、程なく滝尻王子に到着。ここは、現世と熊野の神々が籠もる聖域との境であり、古道を行く人々の要所となったところです。

## 和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に制作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご利用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ (<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>) の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について
- 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
- 問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



## ルートその3【P8へ】 潮見峠下三栖バス停～覗橋

富田川沿いに遡るルートに対し、田辺市三栖王子の手前から方向を真東にとり、横山（標高796m）の山麓を越え、中辺路町栗栖川に抜けるルートが、「潮見峠越」です。

登りも下りも非常に険しいコースではありますが、口熊野といわれた田辺市から熊野三山の聖域のはじまりとされる滝尻王子までを最短で結ぶルートとして、主に近世になって開かれました。コース途中には、昔ながらの石置や名号碑、茶屋跡をはじめとして古道の面影を留めた箇所も多く、捻木の杉といわれる清姫ゆかりの古木や、紀伊水道の眺望などが、旅人をもてなしてくれます。



三栖王子



五躰王子・稲葉根王子



住吉神社



清姫の墓所



ねじき 捻木の杉



潮見峠

## 古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

# 熊野古道マップ

中辺路 (紀伊田辺～滝尻王子)



潮見峠  
▶ P8,P9

稲葉根王子～滝尻王子  
▶ P6,P7

紀伊田辺～稲葉根王子  
▶ P4,P5

熊野古道 中辺路

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶



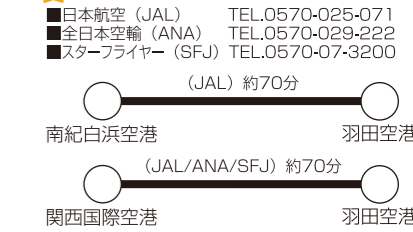
# 熊野古道 [中辺路] アクセスガイド



## 電車



## 空路



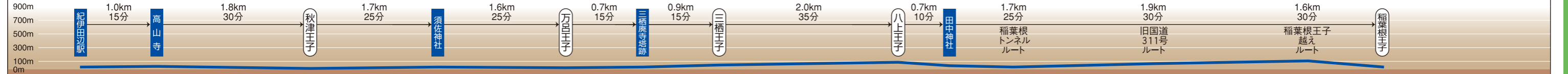
# 紀伊田辺駅(田辺市) ~ 稲葉根王子(上富田町)

歩行距離 12.3km(旧国道311号ルート)  
標準歩行時間 3時間20分(旧国道311号ルート)  
標準所要時間 5時間35分(旧国道311号ルート)

紀伊田辺駅から「口熊野」田辺を散策し、五躰王子のひとつ稲葉根王子へ向かいます。点在する王子跡を訪ねながら、富田川をめざす比較的平坦な区間です。

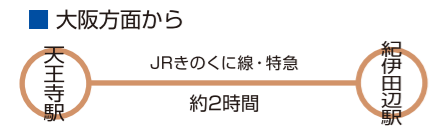
このコースでは、紀伊田辺駅から稲葉根王子まで歩きます。ルートは、左会津川を上流へと歩き、秋津王子、万呂王子へと続きます。三栖王子からは、古道の面影の残る自然道で峠には南方熊楠の林中裸像の写真撮影場所があり、岡坂を下りきり新岡坂トンネルの出口の先に八上王子があります。田中神社からは、稲葉に越えるコースがあり、峠を超えると稲葉根王子です。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



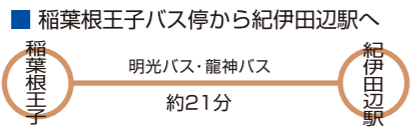
## スタート地点までのアクセス

JRきのくに線を利用して「紀伊田辺駅」へ。新大阪・天王寺方面から特急列車は、ほぼ1時間に1本の間隔で運転しています。普通列車利用の場合は「和歌山駅」「御坊駅」で乗り換えが必要となります。



## お帰りは

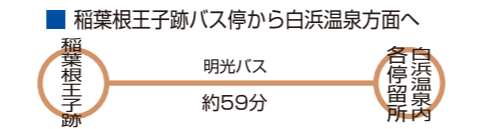
「稲葉根王子」バス停まで歩き、路線バスで「紀伊田辺駅」へ戻ります(1~2時間に1本の間隔で運転)。



## 宿泊の方は

お問い合わせ  
田辺観光協会 0739-26-9929  
南紀白浜観光協会 0739-43-3201  
上富田町観光協会 0739-33-9610

上富田町内に宿泊するか、日帰りの場合と同様の方法で紀伊田辺駅に戻り駅周辺で宿泊、または明光バスを利用して白浜に出て白浜温泉に宿泊する方法があります。白浜温泉方面は1日2本の運行となりますのでご注意ください。



## 標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。稲葉根トンネル経由)

紀伊田辺駅	・	關雞神社	・	・	高山寺	・	・	・	秋津王子	・	・	・	須佐神社	・	・	・	万呂王子	・	・	・		
10:10		10:20		10:30		11:10		11:20		11:50		11:55		12:20		13:00		13:25		13:30		
(ここで昼食休憩:お弁当)																						
・	・	・	・	・	三栖庵寺塔跡	・	・	・	三栖王子	・	・	・	八上王子	・	・	・	田中神社	・	・	稲葉根王子		
					13:45				13:50				14:05		14:10		14:45		14:55	15:05	15:15	15:45

→→→→→ 熊野古道水垢離体験場なども見学して稲葉根王子バス停へ

## 沿道の花ごよみ

三栖王子周辺  
梅...見頃 2月中旬~3月上旬  
田中神社  
藤...見頃 5月上旬~6月下旬  
大賀ハス...見頃 6月上旬~7月下旬  
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「中辺路 紀伊田辺駅~稲葉根王子」

稲葉根王子~滝尻王子(P6)

# いなばね たきじり

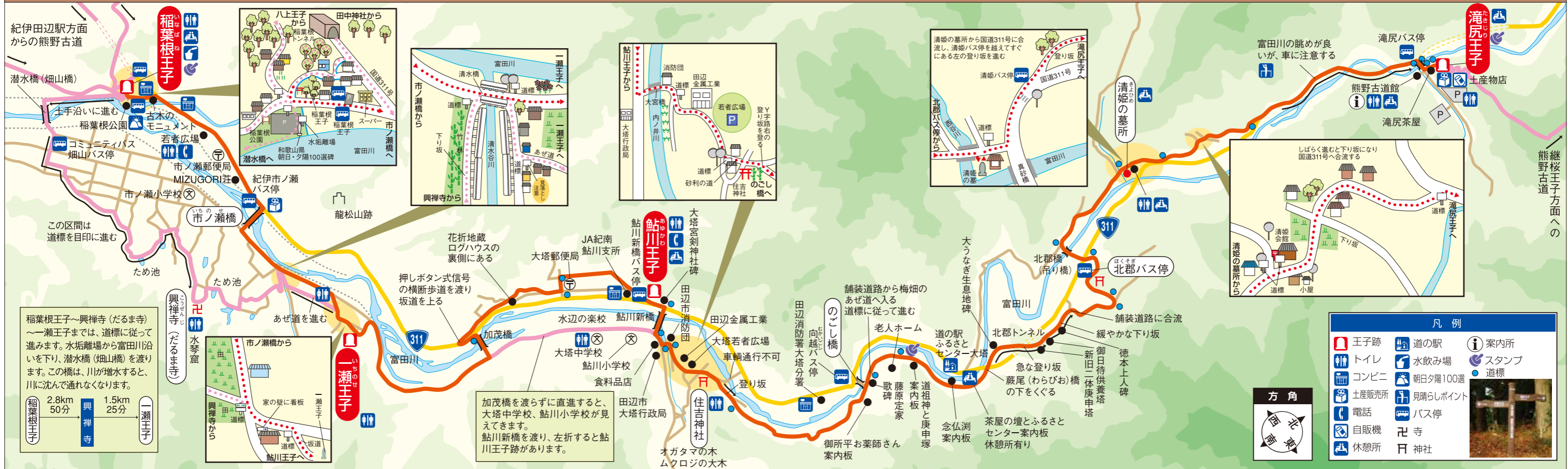
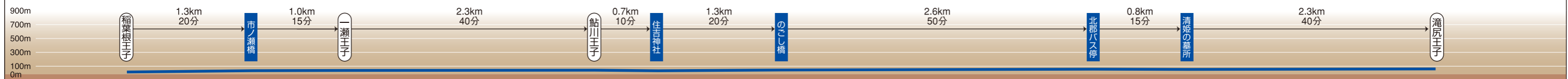
## 稲葉根王子(上富田町)～滝尻王子(田辺市)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 12.3km(市ノ瀬橋・加茂橋経由)  
標準歩行時間 3時間30分(市ノ瀬橋・加茂橋経由)  
標準所要時間 4時間40分(市ノ瀬橋・加茂橋経由)

稲葉根王子から北郡越を通り滝尻王子へ、五躰王子を結ぶルート。  
聖なる富田川(岩田川)の流れに沿い、熊野の聖域の入口滝尻へと向かいます。

稲葉根王子からは、市ノ瀬橋を渡り直接一瀬王子へ向かうルートと、潜水橋を渡り興禪寺を経て一瀬王子へ至るルートがあります。住吉神社を過ぎると川沿いの道になり、蕨尾(わらびお)橋をくぐり北部トンネルを越える山越えになります。この間は車道から分かれ、地道の気持ちのよい道が続きます。清姫の墓所を過ぎれば、ほとんど熊野の聖域の入口とされる滝尻王子に到着。併設の熊野古道館にも是非立ち寄りください。



### 凡例

王子跡	道の駅	案内所
トイレ	水飲み場	スタンプ
コンビニ	朝夕太陽100選	道標
土産販売所	見晴らしポイント	
電話	バス停	
自販機	寺	
休憩所	神社	

### スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは、明光バス「栗栖川行」・「新宮駅行」又は龍神バス「発心門王子行」・「本宮大社行」に乗車し、「稲葉根王子」バス停で下車(1～2時間に1本の間隔で運行)。白浜温泉からは、明光バス「新宮駅行」で「稲葉根王子」バス停下車。白浜温泉からは、1日2本の運行となりますのでご注意ください。

■ 紀伊田辺駅から

明光バス・龍神バス 約21分

■ 白浜温泉方面から

明光バス 約55分

### お帰りは

日帰りの場合は、「滝尻」バス停まで歩き、路線バスで「紀伊田辺駅」へ戻ります(1～2時間に1本の間隔で運行)。

■ 滝尻バス停から紀伊田辺駅へ

明光バス・龍神バス 約40分

### 宿泊の方は

お問い合わせ 中辺路町観光協会 0739-64-1470 上富田町観光協会 0739-33-9610

上富田町内及び車で15分程度の中辺路町栗栖川に宿泊施設があります。また、日帰りの場合と同様の方法で紀伊田辺駅に戻り駅周辺で宿泊するか、明光バスを利用して白浜に出て、白浜温泉に宿泊する方法もあります。白浜温泉方面へは1日2本の運行となりますのでご注意ください。

■ 滝尻バス停から白浜温泉方面へ

明光バス 約76分

### 標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。市ノ瀬橋・加茂橋経由)

稲葉根王子バス停	10:50	稲葉根王子	11:00	市ノ瀬橋	11:20	一瀬王子	11:40
(市ノ瀬橋経由で歩きました)							
・ ・ ・ 鮎川王子	12:20	・ ・ ・ 住吉神社	12:35	・ ・ ・ のこし橋	13:10	・ ・ ・ 北部バス停	14:20
(ここで昼食休憩:お弁当)							
・ ・ ・ 清姫の墓所	14:35	・ ・ ・ 滝尻王子	15:30	熊野古道館を見学し滝尻バス停へ			
(富田川を眺めながら小休止)							

### 沿道の花ごよみ

市ノ瀬橋周辺  
コスモス・見頃  
10月上旬～10月下旬

興禪寺(花の寺)  
フジバカマ・アサギマダラ・見頃  
10月上旬～11月下旬

ツツジ・シャクナゲ・ボタン・アジサイ等  
様々な花が楽しめます。  
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「中辺路 稲葉根王子～滝尻王子」

潮見峠(P8)

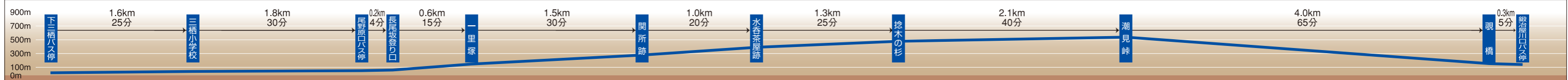
# 潮見峠 下三栖～硯橋 (田辺市)

歩行距離 14.4km  
標準歩行時間 4時間20分  
標準所要時間 5時間35分

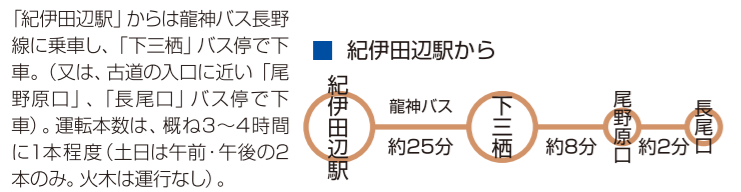
長尾坂を通る「潮見峠越」は、近世に入って以降、熊野詣でのルートのひとつとして賑わった時期があります。苔むした道端の石に時代を感じることができます。

尾野原口バス停からすぐのところ長尾坂登り口があります。ここから水呑茶屋跡まで登り坂が続きますが、以後は、潮見峠まで緩やかな山道になります。搦木峠には、清姫伝説として伝えられる搦木の杉があり、万力でねじられたかの様な枝や幹は山の清涼感と合間って神秘的な眺めです。潮見峠からは、下りが延々続くので足下に注意。途中、古道のルートとして、舗装道路から杉林へ入る箇所がありますが、荒れているためそのまま道なりに進む方がよいでしょう。民家が連なっている所を越えたら、硯橋が見えてきます。

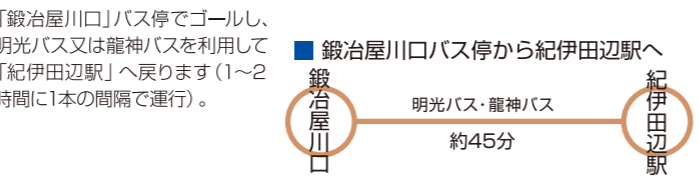
※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



## スタート地点までのアクセス



## お帰りは



## 標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。)

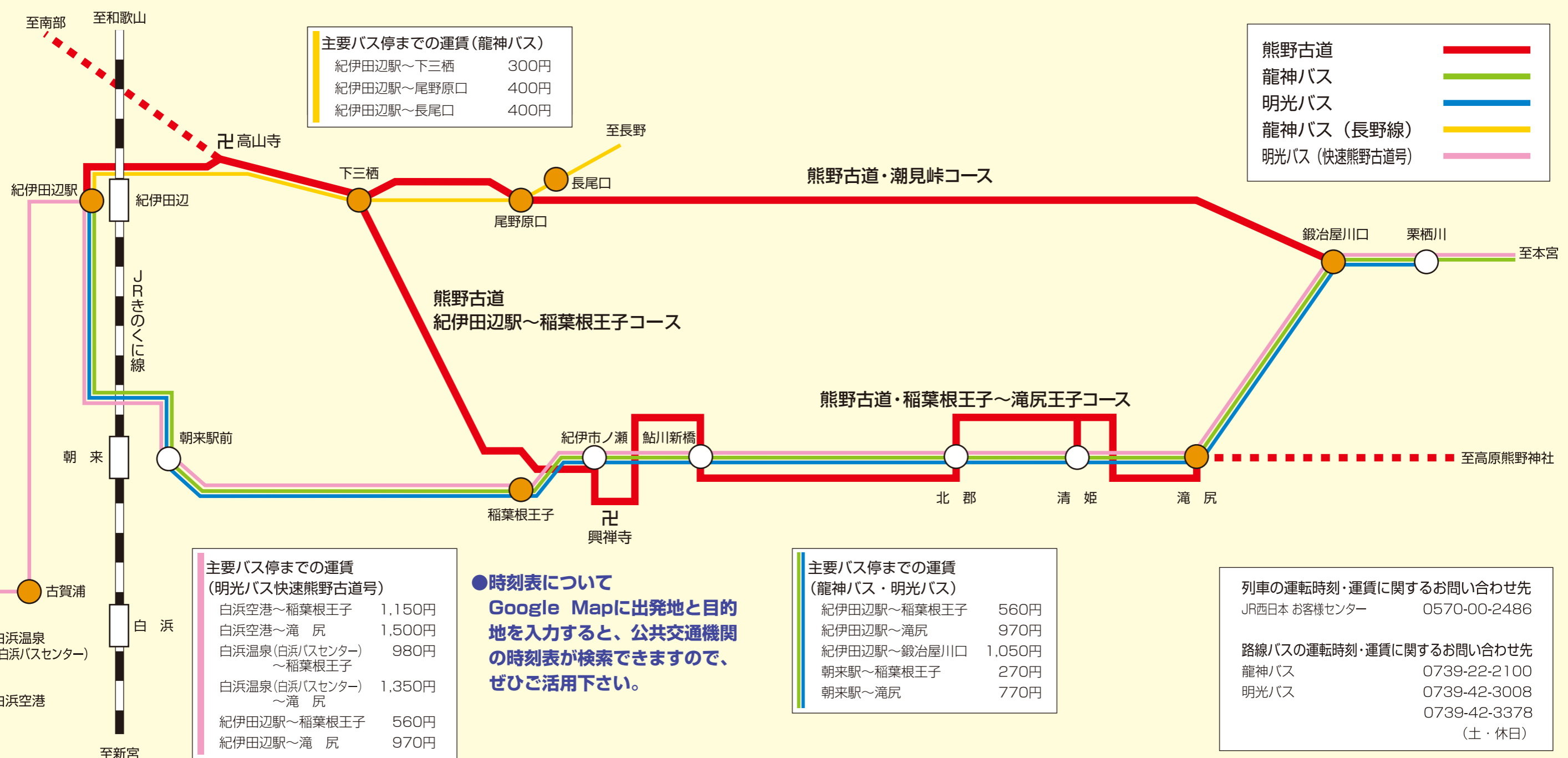
下三栖バス停	11:20	三栖小学校	11:45	長尾坂登り口	13:00	一里塚	13:15	関所跡	13:20	13:50	13:55	
(途中の珠簾神社で40分の昼食休憩:お弁当)												
水呑茶屋跡	14:15	14:25	搦木の杉	14:50	15:00	潮見峠	15:40	15:45	硯橋	16:50	鍛冶屋川口バス停	16:55
(ここで休憩) (搦木の杉を眺めながら休憩)												

## 沿道の花ごよみ

沿道各所  
梅・見頃 2月中旬~3月上旬  
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「中辺路」潮見峠(下三栖)硯橋

# 古道への交通アクセス



主要バス停までの運賃 (龍神バス)

紀伊田辺駅～下三栖	300円
紀伊田辺駅～尾野原口	400円
紀伊田辺駅～長尾口	400円

熊野古道	赤線
龍神バス	緑線
明光バス	青線
龍神バス (長野線)	黄線
明光バス (快速熊野古道号)	ピンク線

主要バス停までの運賃 (明光バス快速熊野古道号)

白浜空港～稲葉根王子	1,150円
白浜空港～滝尻	1,500円
白浜温泉(白浜バスセンター)～稲葉根王子	980円
白浜温泉(白浜バスセンター)～滝尻	1,350円
紀伊田辺駅～稲葉根王子	560円
紀伊田辺駅～滝尻	970円

●時刻表について  
**Google Mapに出発地と目的地を入力すると、公共交通機関の時刻表が検索できますので、ぜひご利用下さい。**

主要バス停までの運賃 (龍神バス・明光バス)

紀伊田辺駅～稲葉根王子	560円
紀伊田辺駅～滝尻	970円
紀伊田辺駅～鍛冶屋川口	1,050円
朝来駅～稲葉根王子	270円
朝来駅～滝尻	770円

列車の運転時刻・運賃に関するお問い合わせ先  
 JR西日本 お客様センター 0570-00-2486

路線バスの運転時刻・運賃に関するお問い合わせ先  
 龍神バス 0739-22-2100  
 明光バス 0739-42-3008  
 0739-42-3378 (土・休日)